

令和4年度（2022）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校 穴吹工科カレッジ

令和5年2月1日

学校法人穴吹学園
専門学校 穴吹工科カレッジ
学校関係者評価委員会

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹工科カレッジ学校関係者評価委員会は、令和3年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告致します。

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校 穴吹工科カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹工科カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

野崎 敬三 野崎自動車株式会社 代表取締役社長
宮崎 康則 香川県自動車整備振興会 香川県自動車技能教育センター課長
新家 勇司 東四国スバル株式会社 工場長 (穴吹工科カレッジ 卒業生)
横井 章子 穴吹学園保護者会支部長
香川 泰造 高松中央高等学校校長
白坂 正典 香川県立坂出工業高等学校校長

(学校教職員)

岩澤 正俊 専門学校 穴吹工科カレッジ校長
清水 泰 専門学校 穴吹工科カレッジ副校長
大門 剛 専門学校 穴吹工科カレッジ教務部長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和5年1月30日(月) 19:00~20:00

開催場所 学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹工科カレッジ 402教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和元年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不

十分である の4段階にて評価。

5. 年間スケジュールに基づく、取組等の説明

- ① 動員効果があるオープンキャンパスの実施
- ② 教員の学生対応力の向上
- ③ 国家試験対策の実施
- ④ 退学率の減少

6. 意見交換、質疑応答

○自己評価結果の総評について

全体的な評価は「A」になっているが、入学者数に関して目標数は超えていない、コロナの影響により留学生数が減少となっている。入学者数を増やすことが今後の課題である。退学率についても、目標を達成することができなかった。

○地域に根ざした教育について授業項目にない部分もあり、今後、自動車と地域に関する項目として交通事故が多い地域事情を考え調査するなど授業項目に取り入れる予定である。

○進路指導や就職指導は良好で、就職先の企業様と連携を取りながら進めている。また、企業様より在学生に対して研修を行っていただくことでミスマッチを無くす取り組みもしている。

離職率を抑えるため、卒業生の動向の把握を、今後、細かいところまで掴んでいく予定である。

○学生募集については、日本人希望者の減少や留学生に対して自動車整備士の重要性について理解を深めてもらう必要性などが課題である。日本人希望者を増やすために、今までの募集活動に併せて自動車業界の現状を知ってもらえるような取り組みが必要である。また、入学後の退学防止対策を継続的に実施することで退学率を抑えていきたい。

〈委員からの意見〉

○入学生を増やす対策について。

高校へのPRについて、新しい取り組み内容を説明してみてもどうか。

→オープンキャンパスへの参加を促すと共に、高校訪問を実施し自動車業界・自動車整備士の必要性を継続して説明しているが、結果としてよくない。自動車に興味をもってもらえるようなイベントを構築し社会の中で自動車整備士の仕事は重要な位置付けであることをもっと知ってもらいたい。

保護者、高校の先生方のイメージを変えていきたい。

○留学生に対しての教育方法の取り組みについて

→基礎学力を向上させるために授業とは別に日本語アプリを使用して実施。苦手意識を少しでも取り除くようなカリキュラムを取り入れている。配布プリントにルビうちなどの工夫をして理解度を上げる工夫としている。学習面だけでなく生活指導も行い日本でのルール、マナーを徹底している。

以上